

2021年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年10月28日
東

上場会社名 大日本住友製薬株式会社 上場取引所
 コード番号 4506 URL <https://www.ds-pharma.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 野村 博
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員 コーポレートコミュニケーション担当（氏名） 樋口 敦子 (TEL) 03-5159-3300
 四半期報告書提出予定日 2020年11月5日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	261,498	13.4	47,981	7.2	47,539	△28.9	30,339	0.0	37,297	23.0	7,336	△65.2
2020年3月期第2四半期	230,603	2.0	44,756	20.5	66,835	125.7	30,330	8.8	30,330	8.8	21,078	△53.8

(参考) 税引前四半期利益 2021年3月期第2四半期 43,654百万円 2020年3月期第2四半期 64,147百万円

※コア営業利益は、営業利益から当社が定めた非経常的な原因による損益（調整項目）を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	93.88	—
2020年3月期第2四半期	76.34	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	1,238,488	635,997	543,473	43.9	1,367.93
2020年3月期	1,252,878	632,105	529,485	42.3	1,332.72

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2021年3月期	—	14.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	506,000	4.8	47,000	△34.7	58,000	△30.3	21,000	△41.5	42,000	3.1	105.71

(参考) 税引前利益 通期 57,000百万円

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2四半期	397,900,154株	2020年3月期	397,900,154株
② 期末自己株式数	2021年3月期2四半期	605,437株	2020年3月期	605,038株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2四半期	397,294,922株	2020年3月期2四半期	397,296,005株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料には、当社グループに関する業績その他の予想、見通し、目標、計画その他の将来に関する事項が含まれています。これらの事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定、見積り、見通しその他の判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。したがって、その後のさまざまな要因により、予想・計画などが記載どおりに実現しない可能性や、実際の業績、開発の成否・進捗その他の見通しなどが記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件などにつきましては、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算短信の開示とあわせて、四半期決算補足資料および四半期決算説明会資料を開示しております。

・当社は、2020年10月29日(木)に機関投資家・アナリスト向けに、第2四半期決算説明会を開催する予定です。この決算説明会の動画については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、国際会計基準（以下「IFRS」）に準拠した連結財務諸表を開示しております。

なお、文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

(業績管理指標「コア営業利益」について)

当社グループでは、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。

「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下「非経常項目」）を除外したものとします。非経常項目として除かれる主なものは、減損損失、事業構造改善費用、企業買収に係る条件付対価公正価値の変動額等です。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	増減	増減率 (%)
売上収益	2,306	2,615	309	13.4
コア営業利益	448	480	32	7.2
営業利益	668	475	△193	△28.9
税引前四半期利益	641	437	△205	△31.9
四半期利益	303	303	0	0.0
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	303	373	70	23.0

■ 売上収益は2,615億円（前年同四半期比13.4%増）となりました。

日本セグメントは、昨年度に販売を開始した2型糖尿病治療剤「エクア」および「エクメット」の寄与などにより増収となりました。また、北米セグメントにおいても、当社グループの収益の柱である非定型抗精神病薬「ラツード」の売上が増加したことなどにより増収となりました。

■ コア営業利益は480億円（前年同四半期比7.2%増）となりました。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、販売関連費用等が低調に推移するなか、昨年度に取得したスミトバント社およびその傘下の子会社の費用が認識されたことにより、コアベースの販売費及び一般管理費ならびに研究開発費は増加しましたが、増収による売上総利益の増加が大きく、コア営業利益は増益となりました。

■ 営業利益は475億円（前年同四半期比28.9%減）となりました。

コア営業利益は増益となりましたが、営業利益は減益に転じました。当第2四半期連結累計期間において、条件付対価公正価値は減少し、わずかながら費用戻入となりましたが、前年同四半期は、ナパブカシンの膵がん患者を対象としたフェーズ3試験の中止決定に伴い、条件付対価公正価値の減少が大きく、多額の費用戻入が発生しました。この結果、営業利益は減少することとなりました。

■ 税引前四半期利益は437億円（前年同四半期比31.9%減）となりました。

支払利息や、当社が保有する外貨建て金融資産に生じた為替差損などの金融費用が金融収益を上回ったため、税引前四半期利益は営業利益に比べ減少しました。

■ 四半期利益は303億円（前年同四半期比0.0%増）となりました。

税引前四半期利益は減益となりましたが、法人所得税が大きく減少したため、四半期利益は前年同四半期と同水準となりました。前年同四半期は、ナパブカシンの膵がん患者を対象としたフェーズ3試験の中止決定などに伴い、米国において認識していた繰延税金資産の取崩しを行いました。当第2四半期連結累計期間にはこのような要因はないことから、法人所得税が大きく減少することとなりました。

■ 親会社の所有者に帰属する四半期利益は373億円（前年同四半期比23.0%増）となりました。

スミトバント社傘下の非支配持分を有する子会社の業績が損失となったため、四半期利益から非支配持分に帰属する損失額を控除した親会社の所有者に帰属する四半期利益は、四半期利益に比べ増加しました。

なお、親会社の所有者に帰属する四半期利益の売上収益に対する比率は14.3%となりました。

（セグメント業績指標「コアセグメント利益」について）

セグメント別の業績では、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しております。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

【日本】

■ 売上収益は773億円（前年同四半期比20.5%増）となりました。

「エクア」および「エクメット」の増収に加え、2型糖尿病治療剤「トルリシティ」の売上が伸長したことや「ラツォダ」を新たに発売したことなどにより、増収となりました。

■ コアセグメント利益は133億円（前年同四半期比0.1%減）となりました。

COVID-19の影響により販売関連費用など販売費及び一般管理費が減少しましたが、品目構成の変化による売上総利益の減少の影響が大きく、わずかながら減益となりました。

【北米】

■ 売上収益は1,445億円（前年同四半期比11.7%増）となりました。

「ラツォダ」に加え、抗てんかん剤「アプティオム」などの売上が伸長したことや、スミトバント社傘下のマイオバント社において、ライセンス契約に基づき受領した契約一時金等の一部を売上として認識したことにより、増収となりました。

■ コアセグメント利益は708億円（前年同四半期比14.2%増）となりました。

スミトバント社および傘下の子会社で発生した費用などにより販売費及び一般管理費は増加しましたが、増収による売上総利益の増加が大きく、増益となりました。

【中国】

■ 売上収益は123億円（前年同四半期比12.4%減）となりました。

カルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」の売上が減少したことにより、減収となりました。

■ コアセグメント利益は63億円（前年同四半期比17.0%減）となりました。

販売費及び一般管理費は減少しましたが、減収による売上総利益の減少が大きく、減益となりました。

【海外その他】

■ 売上収益は93億円（前年同四半期比114.8%増）となりました。

輸出の大幅な増加や、東南アジアにおける「メロペン」の売上の増加などにより、増収となりました。

■ コアセグメント利益は49億円（前年同四半期比301.6%増）となりました。

増収による売上総利益の増加により、大幅な増益となりました。

上記報告セグメントのほか、当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品等の販売を行っており、これらの売上収益は180億円（前年同四半期比3.6%減）、コアセグメント利益は19億円（前年同四半期比20.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産については、非流動資産では、減価償却や為替換算により無形資産が減少したことに加え、その他の金融資産が、当社が保有する投資有価証券の公正価値評価により減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ277億円減少しました。

流動資産は、短期貸付金の減少によりその他の金融資産が減少しましたが、現金及び現金同等物や営業債権及びその他の債権等が増加した結果、前連結会計年度末に比べ133億円増加しました。

これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ144億円減少し、1兆2,385億円となりました。

負債については、引当金は増加しましたが、営業債務及びその他の債務や未払法人所得税が減少しました。また、劣後特約付社債の発行による資金調達を行い、短期借入金の一部返済を実施した結果、非流動負債の社債及び借入金が増加し、流動負債の借入金が減少しました。

その結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ183億円減少し、6,025億円となりました。

親会社の所有者に帰属する持分は、在外営業活動体の換算差額等のその他の資本の構成要素は減少しましたが、利益剰余金が増加した結果、前連結会計年度末に比べ140億円増加し、5,435億円となりました。また、非支配持分は、スミトバント社傘下の非支配持分を有する子会社の業績が損失となったため、前連結会計年度末に比べ101億円減少しました。

これらの結果、資本合計は前連結会計年度末に比べ39億円増加し、6,360億円となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の親会社所有者帰属持分比率は43.9%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

営業活動によるキャッシュ・フローは、引当金の増加などによるキャッシュの増加要因はありましたが、税引前四半期利益が減少したことや法人所得税の支払額が増加したことにより、前年同四半期に比べ57億円収入が減少し、261億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、短期貸付金の減少などにより、前年同四半期に比べ86億円収入が増加し、194億円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、非支配持分からの子会社持分取得による支出があったものの、配当金の支払額が減少しました。また、劣後特約付社債の発行による資金調達を行い、短期借入金の一部返済を実施した結果、前年同四半期に比べ14億円支出が減少し、98億円の支出となりました。

上記の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は1,347億円となり、前連結会計年度末に比べ330億円増加しました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向を踏まえ、2020年7月30日に公表した2021年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しました。

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上収益	コア 営業利益	営業利益	当期利益 又は 損失(△)	親会社の 所有者に 帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	495,000	33,000	24,000	△12,000	9,000	22.65
今回修正予想(B)	506,000	47,000	58,000	21,000	42,000	105.71
増減額(B-A)	11,000	14,000	34,000	33,000	33,000	—
増減率(%)	2.2	42.4	141.7	—	366.7	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	482,732	71,982	83,239	35,918	40,753	102.58

(注) コア営業利益は、営業利益から条件付対価公正価値の変動額、減損損失および事業構造改善費用等の非経常的な要因により発生した損益を控除して算出しています。

売上収益は、前回発表予想では、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響による米国での「ラツェダ」の売上減少を見込んでいましたが、第2四半期連結累計期間までの売上は好調に推移していることから、前回発表予想から110億円増の5,060億円に修正しました。

売上収益の増加に伴い、売上総利益が増加することに加え、コアベースの販売費及び一般管理費は減少する見込みであることから、コア営業利益は、前回発表予想から140億円増の470億円に修正しました。また、条件付対価公正価値の変動額について、抗がん剤として開発中のナパブカシンの開発スケジュールを見直したことにより、前回発表予想と比べ費用の減少を見込むことから、営業利益は、前回発表予想から340億円増の580億円に修正しました。

営業利益の増加に伴い、当期利益および親会社の所有者に帰属する当期利益は、前回発表予想からそれぞれ330億円増の210億円、420億円に修正しました。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後さまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

【要約四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上収益	230,603	261,498
売上原価	56,286	70,694
売上総利益	174,317	190,804
販売費及び一般管理費	47,030	94,173
研究開発費	60,151	49,206
その他の収益	531	537
その他の費用	832	423
営業利益	66,835	47,539
金融収益	2,338	731
金融費用	5,026	4,616
税引前四半期利益	64,147	43,654
法人所得税	33,817	13,315
四半期利益	30,330	30,339
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	30,330	37,297
非支配持分	—	△6,958
四半期利益	30,330	30,339
1株当たり四半期利益(円)		
基本的1株当たり四半期利益	76.34	93.88

【要約四半期連結包括利益計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益	30,330	30,339
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の変動	△3,292	△9,099
確定給付負債(資産)の純額の再測定	—	△260
純損益にその後に振り替えられる可能性の ある項目：		
在外営業活動体の換算差額	△5,945	△13,652
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△15	8
その他の包括利益合計	△9,252	△23,003
四半期包括利益合計	21,078	7,336
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者持分	21,078	17,564
非支配持分	—	△10,228
四半期包括利益合計	21,078	7,336

(2) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	65,748	63,733
のれん	169,046	164,339
無形資産	421,791	408,059
その他の金融資産	200,923	189,000
その他の非流動資産	4,173	3,951
繰延税金資産	27,107	31,984
非流動資産合計	888,788	861,066
流動資産		
棚卸資産	79,368	81,823
営業債権及びその他の債権	134,491	139,395
その他の金融資産	28,717	3,841
未収法人所得税	5,877	5,761
その他の流動資産	9,624	7,587
現金及び現金同等物	101,708	134,710
小計	359,785	373,117
売却目的で保有する資産	4,305	4,305
流動資産合計	364,090	377,422
資産合計	1,252,878	1,238,488

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債及び資本		
負債		
非流動負債		
社債及び借入金	25,020	140,473
その他の金融負債	41,306	39,154
退職給付に係る負債	23,870	24,372
その他の非流動負債	7,212	5,062
繰延税金負債	26,867	27,953
非流動負債合計	124,275	237,014
流動負債		
借入金	272,960	156,960
営業債務及びその他の債務	62,251	53,045
その他の金融負債	13,906	13,670
未払法人所得税	22,637	13,367
引当金	84,644	93,771
その他の流動負債	40,100	34,664
流動負債合計	496,498	365,477
負債合計	620,773	602,491
資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	14,655	16,641
自己株式	△677	△677
利益剰余金	457,330	488,845
その他の資本の構成要素	35,777	16,264
親会社の所有者に帰属する持分合計	529,485	543,473
非支配持分	102,620	92,524
資本合計	632,105	635,997
負債及び資本合計	1,252,878	1,238,488

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動	確定給付負債(資産)の純額の再測定
2019年4月1日残高	22,400	15,861	△674	431,799	32,611	—
四半期利益	—	—	—	30,330	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△3,292	—
四半期包括利益合計	—	—	—	30,330	△3,292	—
自己株式の取得	—	—	△2	—	—	—
配当金	—	—	—	△7,549	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	△2,974	2,974	—
所有者との取引額等合計	—	—	△2	△10,523	2,974	—
2019年9月30日残高	22,400	15,861	△676	451,606	32,293	—
2020年4月1日残高	22,400	14,655	△677	457,330	46,118	—
四半期利益	—	—	—	37,297	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△9,099	△260
四半期包括利益合計	—	—	—	37,297	△9,099	△260
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—
配当金	—	—	—	△5,562	—	—
非支配持分との取引	—	1,986	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	△220	△40	260
その他の増減	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	1,986	△0	△5,782	△40	260
2020年9月30日残高	22,400	16,641	△677	488,845	36,979	—

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			合計	非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		合計			
	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ				
2019年4月1日残高	△3,853	△6	28,752	498,138	—	498,138
四半期利益	—	—	—	30,330	—	30,330
その他の包括利益	△5,945	△15	△9,252	△9,252	—	△9,252
四半期包括利益合計	△5,945	△15	△9,252	21,078	—	21,078
自己株式の取得	—	—	—	△2	—	△2
配当金	—	—	—	△7,549	—	△7,549
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	2,974	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	2,974	△7,551	—	△7,551
2019年9月30日残高	△9,798	△21	22,474	511,665	—	511,665

2020年4月1日残高	△10,312	△29	35,777	529,485	102,620	632,105
四半期利益	—	—	—	37,297	△6,958	30,339
その他の包括利益	△10,382	8	△19,733	△19,733	△3,270	△23,003
四半期包括利益合計	△10,382	8	△19,733	17,564	△10,228	7,336
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
配当金	—	—	—	△5,562	—	△5,562
非支配持分との取引	—	—	—	1,986	83	2,069
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	220	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—	49	49
所有者との取引額等合計	—	—	220	△3,576	132	△3,444
2020年9月30日残高	△20,694	△21	16,264	543,473	92,524	635,997

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	30,330	30,339
減価償却費及び償却費	8,572	9,507
減損損失	19,116	—
条件付対価公正価値の変動額	△41,757	△53
受取利息及び配当金	△2,337	△713
支払利息	195	950
法人所得税	33,817	13,315
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△1,884	△6,594
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,431	△5,152
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	4,135	△7,642
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	281	524
引当金の増減額 (△は減少)	△3,395	11,593
その他	△2,071	1,635
小計	42,571	47,709
利息の受取額	1,552	160
配当金の受取額	754	563
利息の支払額	△137	△820
法人所得税の支払額	△12,963	△21,543
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,777	26,069
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,446	△2,965
有形固定資産の売却による収入	428	238
無形資産の取得による支出	△2,810	△1,921
投資の取得による支出	△2,190	△5,167
投資の売却及び償還による収入	253	3,285
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	20,550	25,724
その他	23	178
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,808	19,372
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△118,000
長期借入金の返済による支出	△1,480	△1,480
社債の発行による収入	—	118,938
リース負債の返済による支出	△2,148	△2,345
配当金の支払額	△7,545	△5,560
非支配持分からの子会社持分取得による支出	—	△2,254
その他	△2	908
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,175	△9,793
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	31,410	35,648
現金及び現金同等物の期首残高	137,296	101,708
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,035	△2,646
現金及び現金同等物の四半期末残高	164,671	134,710

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計方針)

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第2四半期連結累計期間の法人所得税は、見積年次実効税率を基に算定しております。

(セグメント情報等)

当社グループでは、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。

「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下「非経常項目」）を除外したものとなります。非経常項目として除かれる主なものは、減損損失、事業構造改善費用、企業買収に係る条件付対価公正価値の変動額等です。

(1) 報告セグメント

当社グループは、主として医療用医薬品の製造、仕入及び販売を行っており、日本、北米、中国等マーケットごとに医薬品事業の業績管理を行っているため、日本、北米、中国、海外その他の4つを報告セグメントとしております。

なお、当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成要素のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

(2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失及びその他の項目は、以下のとおりであります。

なお、当社グループでは、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しております。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

なお、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」における報告セグメントに含まれない「その他」の区分に係るコアセグメント利益の金額及び前年同四半期比増減については、セグメント間取引として消去された利益を含めて記載しております。

① 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
外部顧客への売上収益	64,176	129,344	14,042	4,347	211,909	18,694	230,603
セグメント間の内部売上 収益	51	—	—	—	51	25	76
合計	64,227	129,344	14,042	4,347	211,960	18,719	230,679
セグメント利益 (コアセグメント利益)	13,344	62,052	7,547	1,219	84,162	1,550	85,712

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品等の事業を含んでおります。

② 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
外部顧客への売上収益	77,342	144,504	12,296	9,336	243,478	18,020	261,498
セグメント間の内部売上 収益	25	—	—	—	25	27	52
合計	77,367	144,504	12,296	9,336	243,503	18,047	261,550
セグメント利益 (コアセグメント利益)	13,325	70,846	6,267	4,895	95,333	1,880	97,213

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品等の事業を含んでおります。

(3) 報告セグメント合計額と要約四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

調整額に関する事項は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

売上収益	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
報告セグメント計	211,960	243,503
「その他」の区分の売上収益	18,719	18,047
セグメント間取引消去	△76	△52
要約四半期連結財務諸表の売上収益	230,603	261,498

(単位:百万円)

利益	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
報告セグメント計	84,162	95,333
「その他」の区分の利益	1,550	1,880
セグメント間取引消去	9	3
研究開発費(注)	△41,016	△49,206
事業譲渡益等	69	—
その他	△18	△29
コア営業利益	44,756	47,981
条件付対価公正価値の変動額	41,757	53
減損損失	△19,116	—
その他の収益	480	566
その他の費用	△832	△1,061
その他	△210	—
要約四半期連結財務諸表の営業利益	66,835	47,539

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。なお、要約四半期連結損益計算書における研究開発費との差額は、コア営業利益の算定から除外される減損損失及び研究開発関連費用であります。

(重要な後発事象)

重要な固定資産の譲渡

当社は2020年6月26日開催の取締役会において、当社の所有する固定資産の譲渡を決議し、同年7月9日付で契約を締結、10月8日に譲渡しました。

(1) 譲渡の理由

経営資源の有効活用および財務体質の向上を図るため、当社の保有する固定資産の一部(売却目的で保有する資産)を譲渡することとしました。

(2) 譲渡資産の内容

資産の名称および所在地	現況
茨木工場 (大阪府茨木市蔵垣内一丁目53番) 土地面積64,509.91㎡ (19,514.25坪)	売却目的で保有する資産

譲渡価額につきましては、譲渡先の要望により開示を控えますが、競争入札による市場価格を反映した適正な価格での譲渡となります。

(3) 譲渡の相手先の概要

譲渡先につきましては、譲渡先の要望により開示を控えます。

なお、譲渡先と当社との間には、資本関係、人的関係、取引関係はありません。また、譲渡先は当社の関連当事者には該当しません。

(4) 譲渡の日程

取締役会決議日:2020年6月26日

契約締結日:2020年7月9日

物件引渡日:2020年10月8日

(5) 連結損益に与える影響

当該固定資産の譲渡により、2021年3月期第3四半期連結累計期間において、固定資産売却益167億円をその他の収益として計上する予定です。